

小説における女性登場人物とオネエ登場人物の
言葉の比較
—文末表現と人称代名詞に着目して—

濱岡 佑帆

Comparisons of Language Variety by Female Characters and
Onee Characters in Novels:
Focusing on the Sentence-Final Expression and Personal Pronouns

HAMAOKA Yuho

Abstract

The purpose of this paper is to clarify the difference between onee and female language, to see how the characteristics of onee language in spoken language, which have been pointed out in previous studies, are expressed in written language, and to verify whether onee language has characteristics of both female and male language. Sentence-final expressions and personal pronouns in dialogue were compared between 8 books that involved one and female characters and 4 books which featured only female characters. The results showed that onee characters used fewer formal forms and more informal forms than female characters. Personal pronouns were chosen between masculine and feminine expressions in onee language. Katakana was sometimes used in both sentence-final expressions and personal pronouns. The blunt speech style characteristic of the spoken onee language was expressed by the frequent use of the informal form in written onee language. The use of both masculine and feminine expressions was observed in the onee character's speech, but there were no notable differences compared to that of the female characters. Since the amount of data in this survey is unbalanced, further studies based on controlled samples should be conducted.

キーワード：役割語 オネエキャラ 女性キャラ 文末表現 人称代名詞

1. はじめに

日本語における役割語には非常に多くのバリエーションがある。金水（2003：205）では役割語を次のように定義している。

ある特定の言葉遣い（語彙・語法・言い回し・イントネーション等）を聞くと特定の人物像（年齢、性別、職業、階層、時代、容姿・風貌、性格等）を思い浮かべることができるとき、あるいはある特定の人物像を提示されると、その人物がいかにも使用しそうな言葉遣いを思い浮かべることができるとき、その言葉遣いを「役割語」と呼ぶ。

そして『(役割語)小辞典』では役割語の6つの類型を立てており、本稿において分析対象とするオネエことばは、性差に関するものに分類される。

日本語のオネエことばに関する研究は主に2つに分かれる。1つは、テレビ番組に登場するオネエタレントやゲイバーなどで働き、オネエことばを使用する人（使用すると認識・想定される人）の発話やテロップなどを分析する研究である（阿部 2014, 河野 2018, 賈 2019, フランチャーニ 2016, マリイ 2013, マリイ 2018）。このような研究は社会言語学的な観点から分析されることが多い。もう1つは、小説や漫画、ドラマや映画といったフィクション作品に登場する、いわゆるオネエキャラと呼ばれるキャラクタの発話を分析する研究である。こちらは先に挙げた研究よりもあまり発展しているとは言えないが、いくつかの先行研究が確認できる（大江 2014, 劉 2019, 馬 2020）。河野（2015）、河野（2016）はテレビ番組に出演するオネエタレントの発話とフィクション作品に登場するオネエキャラの発話を比較する研究も行っている。オネエことばに関する研究はまだまだ発展途上であり、今後進展することが見込まれる。

先に述べた先行研究の多くは、オネエことばを使用する人々（使用すると認識・想定される人々）や、いわゆるオネエキャラと呼ばれる人々のみの発話を取り扱うことが主であり、性差に関する役割語であるにも関わらず、女性語や男性語（女性ことばや男性ことば）とオネエことばを比較したり、女性キャラや男性キャラの発話とオネエキャラの発話を比較したりする研究は非常に少ない。

そこで本稿の目的に、次の3つを挙げる。第一にオネエキャラのことばと女性キャラのことばの差異を探ることである。第二に先行研究で指摘されている、いわゆるオネエタレント・オネエキャラの話し言葉の特徴が書き言葉でどのように表現されているのか明らかにすることである。第三に「オネエことば」には「女性ことば」と「男性ことば」の両方の特徴がみられるのか検証することである。

2. 方法

本稿ではフィクション小説を用いてオネエキャラが登場する小説においてオネエキャラと女性キャラの会話文を比べ、オネエキャラが登場する小説と登場しない作品の女性キャラのことばを比較する。これらの調査を行うことで、書き言葉におけるオネエことばと話し言葉におけるオネエことばの差異や類似点を探ることができる。前者の調査を調査Ⅰ、後者の調査を調査Ⅱとする。

2.1. 調査資料

調査Ⅰと調査Ⅱにて使用した資料は以下のとおりである。便宜上番号をつけた。作者が異なる作品には丸囲いの数字を用い、同一作者の作品は「-1」「-2」を用いて区別した。以降は本のタイトルではなく番号を用いる。

表 2.1-1 調査Ⅰにて調査対象とした書籍一覧

番号	書籍名	出版年	著者	出版社
①	『最後の息子』	1999	吉田修一	文芸春秋
②	『私のママはニューハーフ』	2017	Al De Niro	学術研究出版
③	『オネエ産婦人科』	2019	豪田トモ	サンマーク出版
④	『オレたち花のバブル組』	2008	池井戸潤	文藝春秋
⑤-1	『SLY 世界の旅②』	2003	吉本ばなな	幻冬舎
⑥-1	『七四』	2017	神家正成	宝島社
⑦-1	『シャングリ・ラ』	2005	池上永一	角川書店
⑧-1	『ワーキング・ホリデー』	2007	坂木司	文藝春秋

表 2.1-2 調査Ⅱにて調査対象とした書籍一覧

番号	書籍名	出版年	著者	出版社
⑤-2	『不倫と南米 世界の旅③』	2003	吉本ばなな	幻冬舎
⑥-2	『赤い白球』	2019	神家正成	双葉社
⑦-2	『夏化粧』	2002	池上永一	文藝春秋
⑧-2	『鶏小説集』	2017	坂木司	KADOKAWA

2.2. 調査対象項目

本稿では調査対象項目に文末表現と人称代名詞（1人称代名詞と2人称代名詞）を選択した。佐竹（2018:45）は女性言葉特有の言語形式として人称代名詞、文末形式、感動詞を挙げており、小川（2006）でも男女差を示す10要素の中で終助詞（文末表現）と呼称（1人称、2人称、3人称）を挙げており、小説ではこれらが明確に記述されるためである。文末表現について渡邊（2015:120）では「助動詞、終助詞、助動詞と終助詞を合わせたもの」としているので、本稿でもこれに従う。また、文末表現の分類も渡邊（2015）を参考にした。渡邊（2015）による文末表現の性差的表現は以下のとおりである。

文末表現：男性的…か、かい、かよ、のか、さ（さー）、ぜ、ぞ、（ん）だい、だ、だぞ、だなあ、だね、だもの、だよ、だよね、だろうな、なあ、なよ、や、んだ

女性的…かしら、こと、たら、だわ、だわね、ちょうだい、て、（ん）ですもの、てよ、なの、ねえ（ねー）、のよ、もの（ん）、よね、わ（↑）、わね、わよ

中立的…ね、の、よ

文末表現のグループはう系・う系省略・か系・かしら系・け系・さ系・じゃない系・だ系・て系・です系・な系・ね系・の系・ます系・ません系・もの（ん）系・よ系・わ系・その他に分類された。

人称代名詞は1人称代名詞と2人称代名詞のみを分析対象とした。渡邊（2015：120）では、自称詞と対称詞における男性的表現と女性的表現を次のようにまとめている。

人称代名詞：男性的…〈自称〉おいら、おれ（俺）、ぼく（僕）、わし

〈対称〉おまえ（お前）、きみ（君）

女性的…〈自称〉あたし、あたくし

〈対称〉あんた

中立的…〈自称〉わたし・わたくし（私）

〈対称〉あなた、おたく・おたくさま、そちら・そちらさま

セリフは表 2.1-1、表 2.1-2 の作品から、調査Ⅰでは女性キャラとオネエキャラ、調査Ⅱでは女性キャラによるカギ括弧で囲まれた会話文を抜き出し、句点で区切られた文を1セリフとして数えた。次にセリフ中の文末表現、人称代名詞を抜き出した。渡邊（2015）では捨て仮名をそのまま抜き出していたが、本稿では捨て仮名はすべて削除し、辞書形に変えた¹⁾。しかし、終助詞単体や終助詞同士の組み合わせにおいて表記がひらがなとカタカナで書き分けられていた場合や、ひらがなとカタカナが組み合わせられている場合は、1語として分類した。

また渡邊（2015）では文末表現の分類に疑問符がなかったため、本稿では文末表現に疑問符が付加されていた場合、付加されていない表現と区別し異なり語彙として分

¹⁾ 本稿は使用された文末表現（助動詞、終助詞、助動詞と終助詞を組み合わせたもの）に着目しているので、「驚かせちゃったかなあ？」（『オネエ産婦人科』望月ケイ p.77）のような強調を示すような表記の問題には触れない。

類した。疑問符はそのまま抜き出したが、感嘆符は削除した。疑問符の有無は疑問と非疑問の意味の差異を生じさせるが、感嘆符にはその作用はないためである²⁾。

調査対象とした女性キャラはおおよそ10代後半から60代の女性キャラに限定した。10代前半以下の女性キャラは女性よりも子供の要素が強くなるため調査対象から除外した。また年齢が高くなるにつれて老人の要素が強くなるため老人キャラも調査対象から除外した³⁾。外国人の女性キャラの場合、外国人要素が強くと片言の日本語が会話文に確認された場合、対象から除外した⁴⁾。なお、調査対象としたオネエキャラは、作中において「オネエ」や「ニューハーフ」である、または「オネエことば」を使うと説明されているキャラに限定した。

3. 結果

これ以降調査Ⅰと調査Ⅱの女性キャラの文末表現と人称代名詞について言及するが、オネエキャラが登場する作品の女性キャラを女性キャラⅠ、オネエキャラが登場しない作品の女性キャラを女性キャラⅡとする。

初めに調査Ⅰと調査Ⅱにおいて調査対象としたセリフ数ならびに、文末表現が確認されたセリフ数（表中では使用回数）、文末表現使用率を表3-1、表3-2に提示する。

²⁾ 「あら、あのブリッジいつから物干し台に変わったの？」（『シャン・グリ・ラ』國子 p.27）と「好きになってほしいの」（『シャン・グリ・ラ』國子 p.27）では前者は疑問、後者には疑問の意味はなく、発話者の願望を表していることから疑問符の有無は意味の違いを表す。一方感嘆符は「暴力は下品よ！」（『最後の息子』閻魔ちゃん p.12）と「暴力は反対よ！」（『最後の息子』閻魔ちゃん p.53）のように終助詞「よ」が持つ、知らせという意味（益岡・田窪 1992：52）には変化を与えず、発話時の感情の強さや語気の強さを表すだけにとどまっている。

³⁾ 10歳以下と考えられる子供キャラ、特に女の子キャラの登場は少ないが、『私のママはニューハーフ』と『オネエ産婦人科』に1名ずつ登場している。「だっかげり、おばちゃんが好きだから」（『私のママはニューハーフ』かげり p.32）や「あのね、赤ちゃんはね、真理のお兄ちゃんなんだよ」（『オネエ産婦人科』真里 p.174）のように発話のたどたどしさや1人称代名詞を使用せず、自身の名前を使用する点など成人とは異なる様子が確認できたことから、本稿では調査対象から除外した。また『オネエ産婦人科』では主人公とお腹の中にいる胎児が会話する場面があるが、胎児は本来会話できないのでこちらも調査対象外とした。また、老人キャラも登場は少ないが、『シャン・グリ・ラ』に主人公國子の祖母である凧子が登場する。彼女は「目覚めの季節が訪れたのじゃ」（『シャン・グリ・ラ』凧子 p.20）や「國子は良き總統じゃな」（『シャン・グリ・ラ』凧子 p.172）といった助動詞「だ」が「じゃ」に変化するという老人キャラの役割語が確認されるので、調査対象から除外した。

⁴⁾ 外国人キャラも子供キャラと同様に登場することは少ない。しかし『シャン・グリ・ラ』と『夏化粧』に外国人女性キャラが登場する。前者にはクラリスという外国人女性キャラが登場する。このキャラは「わからない出来事とわからない人で解決するのは間違っているわ」（『シャン・グリ・ラ』クラリス p.131）のように典型的な外国人キャラの役割語は確認されないため、女性キャラとして調査対象に含めた。一方で後者に登場するパトリシア・ボーグナインは「パトリシア悪くない」（『夏化粧』パトリシア・ボーグナイン p.136）や「ただ走るだけ意味ない」（『夏化粧』パトリシア・ボーグナイン p.137）といった助詞を抜かすといった外国人キャラの役割語要素が見られるため、調査対象から除外した。

文末表現使用率は、文末表現が確認されたセリフ数 / 調査対象としたセリフ数で求めた。表中の番号は表 2.1-1 と表 2.1-2 に対応している。

表 3-1 調査Iにて調査対象としたセリフ数・文末表現使用回数・文末表現使用率

	セリフ数		使用回数		使用率	
	オネエ	女性	オネエ	女性	オネエ	女性
①	139	54	115	48	82.7%	88.9%
②	2343	265	1459	205	62.3%	77.4%
③	760	414	461	218	60.7%	52.7%
④	187	111	120	78	64.2%	70.3%
⑤-1	141	311	82	170	58.2%	54.7%
⑥-1	264	649	177	401	67.0%	61.8%
⑦-1	1431	3331	1014	1740	70.9%	52.2%
⑧-1	163	374	98	179	60.1%	47.9%
	5428	5509	3526	3039	65.0%	55.2%

表 3-2 調査IIにて調査対象としたセリフ数・文末表現使用回数・文末表現使用率

	セリフ数	使用回数	使用率
	女性	女性	女性
⑤-2	233	130	55.8%
⑥-2	168	89	53.0%
⑦-2	1856	1066	57.4%
⑧-2	386	216	56.0%
	2643	1501	56.8%

3.1. 調査 I

3.1.1. 文末表現

はじめに 8 作品における文末表現の使用回数を数えた。その後 8 作品すべてのオネエキャラを 1 つのグループ、女性キャラを 1 つのグループとしての文末表現の使用回数を足し、オネエキャラグループによる使用回数、女性キャラによる使用回数とそれぞれの使用率を求めた。表 3.1.1-1 に結果をまとめた。表中の回数は各グループによる使用回数であり、合計はオネエキャラグループの使用回数と、女性キャラによる使用回数を合計した使用回数総数である。紙面の関係上、表は末尾に付す。

調査 I にて確認された文末表現は 166 種類であった。166 種類の内オネエキャラにのみ確認された文末表現は 28 種類であり、女性キャラ I にのみ確認された文末表現は 41 種類だった。表 3.1.1-2 にその詳細をまとめる。

オネエキャラのみに確認された文末表現 28 種類の内、疑問符を使用しているのが 10 種類、2 種類のカタカナ表記がある。一方、女性キャラ I のみに使用された文末表現 41 種類の内、疑問符が用いられているのは 4 種類であり、カタカナ表記の使用は

表 3.1.1-2 調査Iにてオネエキャラのみに使用が確認された文末表現ならびに女性キャラIにのみ使用が確認された文末表現

オネエキャラ		女性キャラ		
んでしょう	ですね？	しょ	ろうな	んじゃないの？
だろ？	のね？	だろ	かね	ましたもの
もんですか	ましたよね	でしょうか	だよね？	んだもん
かい？	ますよね	でしたか	ちょうだいね	くださいよ
け？	ものね	ましたか	でしたね	ませんのよ
んじゃない？	わよね？	んですか	ですよね	ませんよ
だぞ	んですか？	んですか？	ですわね	んだよ
だい？	でしょうよ	かい	ましたわよね	ましたわ
て？	わよ？	ですかい	ますよね？	ますわ
のかな	わヨ	ですし	ますわね	んですわ
よな	んですよ	んじゃない	ませんね	じゃん
ネ	下さい	ますぞ	んですよね	ですこと
くださいね	ました	のだ	ですの	や
だろうね	ませ	だろうな	ますの	

なかった。

3.1.2. 人称代名詞

次に人称代名詞についてである。前述した文末表現のように、抽出された人称代名詞すべての使用回数を作品別に求め、その後8作品すべてのオネエキャラを1グループ、8作品すべての女性キャラを1グループとし、グループ別の使用回数を算出した。以下の表3.1.2-3に結果を提示する。表中の回数は各グループによる使用回数であり、合計はオネエキャラグループの使用回数と、女性キャラによる使用回数を合計した使用回数総数である。

1人称代名詞では10種類の語が確認された。両方のグループに使用されている女性的表現である「あたし」もオネエキャラの使用回数が多く、「あたくし」や「あたしゃ」も確認され、異なる表記法である「アタシ」の使用はオネエキャラのみであった。中立的表現とされる「私」の使用回数は女性キャラIの方が多。

また2人称代名詞でも女性的表現である「あんた」の使用回数はオネエキャラの方が多く、「あ、ん、た」や「アンタ」という派生形も確認された。中立的表現である「あなた」は女性キャラIの使用回数が多く、1人称代名詞と同様の傾向が見られた。

表 3.1.2-1 調査Iにて使用が確認された人称代名詞

1人称			オネエ			2人称			オネエ					
			女性	合計					女性	合計				
男性	俺		3	0	3	女性	君		1	0	1			
		僕	16	0	16			あんた	185	68	253			
		僕ちん	2	0	2				あ、ん、た、	1	0	1		
	女性	あた	たい	0	1		1	アンタ	11	0	11			
			あたくし	1	0		1	中立	あなた	62	101	163		
			あたし	349	285		634			合計	260	169	429	
			アタシ	34	0		34							
			あたしゃ	1	0		1							
			中立	私			46	276	322					
					わたくし		0	3	3					
		合計		452	565		1017							

3.2. 調査II

3.2.1. 文末表現

文末表現について表3.2.1-1に結果を提示する。紙面の関係上、表は末尾に付す。抽出された文末表現は全部で109種類だった。使用回数が1回のみであった文末表現は36種類であった。次に女性キャラIに使用が確認された文末表現138種類と女性キャラIIに使用されている文末表現109種類を比較した。女性キャラIにのみ使用されている文末表現は55種類、女性キャラIIにのみ使用されている文末表現は27種類だった。詳細を表3.2.1-2に示す。なお表3.2.1-2の女性キャラIは女性キャラIのみに使用が確認された文末表現、女性キャラIIは女性キャラIIのみに使用が確認された文

末表現を指す。

女性キャラⅡでは、女性キャラⅠでは見られなかった男性的表現の「だい系」の使用が確認できた。女性キャラⅠには「け系」が確認できなかったが、女性キャラⅡでは確認できた。また、女性キャラⅠにのみ使用された「わ系」は5種類確認されたが、女性キャラⅡのみに使用された「わ系」は確認できなかった。

表 3.2.1-2 女性キャラⅠに使用が確認された文末表現ならびに
女性キャラⅡに使用が確認された文末表現

女性キャラⅠ				女性キャラⅡ	
んでしょう？	ですし	でしたね	ます？	んだろう	だろな
しよ	んじゃない	ですよね	だもん	じゃないか	のかな
んでしょ？	ますぞ	ですわね	ましたもの	のか？	くださいね
でしょうか？	のだ	ましたわよね	んだもん	ものか	だろうね
でしたか	です？	ましようね	だわよ	かい？	のよね？
ましたか？	んです	ますね	ましようよ	け	ものね
ましようか	かな？	ますよね？	ませんのよ	け？	だろうよ
ましようか？	だな	ますわね	ものよ	だろうさ	ましたよ
ますか？	ろうな	ませんね	ましたわよね	だし	下さい
ませんか	かしらね	わね？	ますわね	だし？	ちょーだい
ませんか？	かしらね？	でしょうね	ませんわ	だろうし	ました？
んですか	だよね？	んですよね	んですわ	んだし	わけ
んですか？	だわね	ますの	頂戴	だい？	わけ？
ですかい	ちょうだいね	んじゃないの？	ですこと	んだい	

3.2.2. 人称代名詞

次に人称代名詞の結果を以下の表 3.2.2-1 に示す。1 人称代名詞において中立的表現である「私」は4 作品すべてにおいて使用されているが、女性的表現である「あたし」も確認できる。また調査Ⅰではオネエキャラにのみ使用されていた「あたしゃ」という派生形が確認され、2 人称代名詞においては男性的である「おまえ」や「君」が確認された。

表 3.2.2-1 調査Ⅱにて使用が確認された人称代名詞

1 人称		⑤ -2	⑥ -2	⑦ -2	⑧ -2	合計	2 人称		⑤ -2	⑥ -2	⑦ -2	⑧ -2	合計
		女性	女性	女性	女性				女性	女性	女性	女性	
女性	あたし	0	0	94	1	95	男性	おまえ	0	0	8	0	8
	あたしゃ	0	0	1	0	1		おまえさん	0	0	1	0	1
	うち	0	15	0	0	15		君	0	2	0	0	2
中立	私	19	3	22	13	57		キミイ	0	0	1	0	1
	わたし	0	10	0	0	10		女性	あんた	7	0	20	6
	合計	19	28	117	14	178	中立	あなた	6	0	15	4	25
								合計	13	2	45	10	70

4. 考察

4.1. 調査 I

調査 I はオネエキャラが登場する作品のオネエキャラと女性キャラ I の会話文を比較し、オネエキャラの会話文にどのような特徴があるのか、文末表現と人称代名詞の観点から調査を行った。

4.1.1. 文末表現

渡邊（2015）において男性的表現・女性的表現・中立的表現として挙げられている文末表現のうち、調査 I にて使用が確認されたものとその回数を以下の表 4.1.1-1 にまとめる。オネエキャラと女性キャラともに中立的表現の使用回数が最も多く、次に女性的表現、最も使用回数が少なかったのは男性的表現である。男性的表現 20 種類の内、14 種類が確認された⁵⁾。オネエキャラは「かい」「だろうな」「や」の使用がないので 11 種類を、女性キャラは「だぞ」の使用がないので 13 種類を使用していることになる。「や」と「だぞ」は 1 回ずつ、「かい」は 2 回の使用にとどまっている。使用回数では、オネエキャラは 11 種類を 121 回、女性キャラは 13 種類を 126 回使用している。また女性的表現に着目すると、17 種類中 12 種類が確認され⁶⁾、オネエキャラは 11 種類（「ですこと」の使用無し）を 1083 回、女性キャラは 12 種類を 877 回使用していることが確認された。

表 4.1.1-1 調査 I における性差を示す表現の使用種類とその回数

	男性的表現			女性的表現				中立的表現			
	オネエ	女性	合計		オネエ	女性	合計		オネエ	女性	合計
か	33	14	47	かしら	46	16	62	ね	405	214	619
のか	1	7	8	だわね	2	2	4	の	262	198	460
かい	0	2	2	よね	45	27	72	よ	408	384	792
さ	16	11	27	わね	143	51	194	合計	1075	796	1871
ぞ	8	5	13	もの(ん)	35	42	77				
だぞ	1	0	1	ですもの	3	6	9				
だ	30	39	69	のよ	313	250	563				
んだ	6	13	19	わ	221	351	572				
だろうな	0	2	2	わよ	229	87	316				
だね	5	2	7	だわ	36	38	74				
だよね	3	11	14	ちょうだい	10	6	16				
だもの	1	2	3	ですこと	0	1	1				
だよ	17	17	34	合計	1083	877	1960				
や	0	1	1								
合計	121	126	247								

⁵⁾ 疑問符が付加された表現「か?」「かい?」「だい?」は含めない。

⁶⁾ 疑問符が付加された表現「よね?」「わね?」「のよ?」「わよ?」は含めない。

阿部（2014）では、オネエことばについて以下のように述べている。

私はオネエことばを「混雑的（ハイブリット）言語行為」と定義し、ゲイ、オネエ、ニューハーフが共有する言語形態である、とする。オネエことばは、理想化された架空の男と女の間（あるいは男でも女でもない）ことばとして位置づけることができ、その多様性は幅があり、話者がそれぞれのコンテキストで自己判断し、男性性、女性性の持つステレオタイプの特徴をことばの中に生かす言語行為である。（p.58）

つまり、オネエことばは女性ことばと男性ことばを組み合わせたことばであると考えることができる。このことからオネエキャラと女性キャラのことばを比較すると、オネエキャラの方が男性的表現をより多く含んだ会話文を使用すると予測した。しかしながら前述した結果のとおり、オネエキャラにおいて使用が確認された男性的表現の種類は女性キャラよりも少なく、使用回数も女性キャラより少なかった。以上のことは、オネエキャラの方が男性的表現を多用するとは必ずしも言い切ることができない可能性を示し、阿部（2014）の定義から予測されるオネエことばの様相とは異なるものであるとと言える⁷⁾。

フランチョーニ（2016:145）はオネエことばの特徴として「わ・よ・ね・わよ・わね・もの・こと、と言った終助詞、女性語的感動詞、動詞の丁寧形が使用されている」と述べている。オネエキャラのみに用いられた文末表現と女性キャラのみに使用された文末表現を比較すると、女性キャラには助動詞「だ」の丁寧形である「です」と動詞の丁寧形である「ます」に終助詞を付加した文末表現のバリエーションが豊富であることが分かる。この結果は、フランチョーニ（2016）が挙げた話し言葉におけるオネエことばの特徴の1つである「動詞の丁寧形」という要素を、書き言葉ではオネエキャラよりも女性キャラの方が多く持ち合わせていることを示している。

このことから次のことが考えられる。オネエキャラには女性キャラよりも敬語における「丁寧語」の使用が少なく、「常体」が多く使用されている。この「常体」の使用の多さが、マリイ（2013）が話し言葉のオネエことばを使用するオネエキャラの特徴の1つとして挙げている「『ずけずけ』と『毒舌』を吐くこと」を書きことばで表現しようと試みた結果であると考えられる。

4.1.2. 人称代名詞

人称代名詞では文末表現よりもオネエキャラと女性キャラとの差異が明確に表れ

⁷⁾ 調査対象としたセリフ数が統制されていない、使用回数が1回や数回のみ表現がある、といった問題点もある。

た。1人称代名詞では男性的表現である「僕」「俺」はオネエキャラにのみ使用されており、2人称代名詞でも同様であった。人称代名詞において非常に興味深いのは女性的表現と中立的表現の使い分けと、女性的表現内の表記の使い分けである。

オネエキャラ、女性キャラともに中立的表現である「私」（322回）よりも、女性的表現である「あたし」（634回）の使用回数の方が多かった。オネエキャラによる1人称の女性的表現である「あたし」の使用回数は349回であり、女性キャラによる使用は285回であった。一方中立的表現である「私」のオネエキャラによる使用は322回中46回で、女性キャラの使用は322回中276回だった（表3.1.2-1）。女性キャラは女性的表現と中立的表現の両方をバランスよく使用するのに対し、オネエキャラは女性的表現に偏って使用している。これはオネエことばの特徴である女性語的1人称代名詞の選択（フランチョーニ 2016:145）を裏付けるものであり、オネエキャラは「あたし」を多用するというステレオタイプが浸透していると言える。

同様の傾向は2人称代名詞にもみられ、女性的表現である「あんた」の使用回数はオネエキャラの方が多く、中立的表現である「あなた」の使用回数は女性キャラの方が多かった。オネエキャラの1人称・2人称代名詞に男性的表現が見られ、女性的表現が女性キャラよりも使用回数が多いということは、オネエキャラの会話文には女性ことばと男性ことば両方の要素が確認できるという予測と一致している。

次に女性的表現の1人称「あたし」と2人称「あんた」における表記の使い分けである。調査Ⅰでは「あたし」と「アタシ」、「あんた」と「アンタ」というひらがなとカタカナの表記の違いが確認された。カタカナの「アタシ」と「アンタ」はオネエキャラにのみ使用されている。

このような「あたし/わたし」「あんた/あなた」の使い分けや「あたし/アタシ」「あんた/アンタ」の使い分けがされている原因は、有標/無標に関連していると考えられる。日本語の表記では「私」や「あたし」という漢字やひらがな表記が一般的、つまり無標であり、主に外来語に用いられるカタカナによって表記される「アタシ」という表記は異質、有標である。これは「あんた」と「アンタ」にも同様である。前者が無標であり、後者は有標である。また、人称代名詞の性差表現に着目すると、中立的表現は無標であると言えるが、男性的表現や女性的表現は有標であると言える。この場合、中立的表現である「私」や「わたし」は無標、女性的表現である「あたし」や「アタシ」は有標、ということになる。オネエキャラに有標とされる人称代名詞を使用し、女性キャラに無標とされる人称代名詞を用いることで、両者の区別を明確にする働きがあると考えられる。

4.2. 調査Ⅱ

調査Ⅱはオネエキャラが登場する作品における女性キャラⅠの会話文とオネエキャラが登場しない作品における女性キャラⅡの会話文を比較し、オネエキャラの有無に

よって女性キャラの会話文にどのような変化が生じるのか、調査した。

4.2.1. 文末表現

渡邊（2015）において男性的表現・女性的表現・中立的表現として挙げられている文末表現のうち、調査Ⅱにて使用が確認されたものとその回数を以下の表 4.2.1-1 に提示する。

表 4.2.1-1 調査Ⅱにおける性差を示す表現の使用種類とその回数

男性的表現						女性的表現						中立的表現					
	⑤-2	⑥-2	⑦-2	⑧-2			⑤-2	⑥-2	⑦-2	⑧-2			⑤-2	⑥-2	⑦-2	⑧-2	
	女性	女性	女性	女性	合計		女性	女性	女性	女性	合計		女性	女性	女性	女性	合計
か	1	0	14	0	15	かしら	2	0	20	1	23	ね	8	15	84	33	140
のか	0	0	2	0	2	よね	1	3	5	9	18	の	17	16	67	20	120
かい	0	0	12	0	12	わね	3	2	19	5	29	よ	13	10	144	16	183
さ	0	0	33	4	37	もの(ん)	2	0	17	1	20						443
ぞ	0	0	3	0	3	ですもの	0	1	0	0	1						
だ	0	1	27	1	29	のよ	13	10	88	9	120						
んだ	1	0	38	9	48	わよ	2	0	43	3	48						
んだい	0	0	9	0	9	わ	17	1	44	7	69						
だろうな	1	0	3	0	4	だわ	2	1	17	0	20						
だね	3	1	12	1	17	ちょうだい	0	0	5	0	5						
だよね	1	0	1	4	6						353						
だもの	5	0	6	1	12												
や	0	0	1	0	1												
					195												

女性キャラⅡによる男性的表現の使用を確認すると、「か・のか・かい・さ・ぞ・だ・んだ・んだい・だろうな・だね・だよね・だもの・だよ」の13種類195回が確認された。女性キャラⅠで確認された「や」の使用は見られず、反対に女性キャラⅡでは使用が確認されなかった「だぞ」の使用が見られた。それ以外の使用が確認された男性的表現は女性キャラⅠと女性キャラⅡで一致した。女性的表現では「かしら・よね・わね・もの(ん)・ですもの・のよ・わよ・わ・だわ・ちょうだい」の10種類353回が確認された。女性キャラⅠで確認された「だわね」と「ですこと」の使用は見られなかったが、そのほかの女性的表現は女性キャラⅠと女性キャラⅡで一致していた。中立的表現は「ね・の・よ」の3種類が443回使用されており、調査Ⅰと同様に中立的>女性的>男性的であった。

次に注目したいのは、女性キャラⅠによる多用が確認された「です(でした)/ます(ました)+終助詞」の文末表現である。女性キャラⅠでは文末表現138種類中47種類に「で

す」「ます」「です（でした）/ます（ました）+終助詞」という表現が用いられているのに対し、女性キャラⅡでは109種類中18種類のみであった。割合で言えば、前者は33.8%、後者は16.3%の使用率であり、後者は前者よりも上記の表現の使用率が17.5ポイント低いことになる。この特徴は特に「わ系」で顕著に確認される。女性キャラⅠでは「わ」「だわ」の他に「です（でした）/ます（ました）+わ」の形を取る「わ系」の文末表現が確認されるが、女性キャラⅡでは「わ系」の文末表現は「わ」「だわ」の2種類しか確認されない。

この点にオネエキャラの有無による女性キャラの会話文への影響がみられると考えられる。つまり、オネエキャラがいる場合には、女性キャラはオネエキャラよりも丁寧形を多用し、ずけずけと話すオネエキャラとの区別をつけるが、オネエキャラがない場合には女性キャラは丁寧形をあまり使用せず、オネエキャラのように常体を使用するというオネエキャラによるオネエことばの特徴を女性キャラが持ち合わせていることになる。これは女性キャラⅠと女性キャラⅡの大きな違いであり、女性キャラの会話文における大きな変化だと言える。

4.2.2. 人称代名詞

女性キャラⅡが使用する1人称代名詞は、女性的表現である「あたし」が中立的表現である「私」よりも使用回数が多い。しかし「あたし」の使用が4作品中2作品であるのに対し、「私」は4作品すべてに使用されているので、中立的表現である「私」の方がやや優勢であるとも考えることもできる。よって女性的表現よりも中立的表現を使用する傾向にあると言えるだろう。

2人称代名詞では女性キャラⅠによって使用されていなかった「おまえ」や「君」といった男性的表現の使用が女性キャラⅡでは見られた。また、「おまえさん」などといった派生形も確認でき、女性キャラⅠよりも女性キャラⅡが使用する男性的表現はバラエティに富んでいると言える。しかし使用されたのは4作品中2作品のみである。一方女性的表現「あんた」や中立的表現「あなた」はひらがな表記のみでバリエーションは少ないものの、3作品で確認される。このことから女性的表現や中立的表現の方が男性的表現よりも多く選択されていると言える。

女性キャラⅠはオネエキャラとの区別をつけるために無標で中立的表現である「私」や、有標とも考えられるが、ひらがな表記によって無標と言える「あたし」を使用する傾向にあった。女性キャラⅡはオネエキャラが登場せず区別をつける必要がないので、無標の人称代名詞だけでなく有標の女性的表現やカタカナ表記を用いることができるはずである。しかしその使用が見られないのは、あくまで女性キャラであることを表現し、オネエキャラ的要素を演出するような人称代名詞の使用を避けているのではないかと考えられる。このことから人称代名詞の使用に関しては女性キャラⅠも女性キャラⅡも有標ではなく無標を選択するという点で類似している。

5. 結論

本稿は小説におけるオネエキャラのことばと女性キャラのことばを比較し、その差を明らかにし、先行研究で指摘されているオネエタレントやオネエキャラの話し言葉の特徴が書きことばでどのように表現されているのか、書き言葉のオネエことばには男性ことばと女性ことば両方の特徴がみられるのか検証した。

小説、書き言葉におけるオネエことばの特徴は、①女性キャラと比較して常体が多用されやすく、敬体は選択されにくい傾向にあること、②人称代名詞において男性的表現と女性的表現という有標の語を選択すること、③オネエことばにはカタカナ表記が用いられることがあること、が挙げられる。しかしながらこの差異はオネエキャラが使用するオネエことばの絶対的な特徴ではなく、女性キャラの使用する女性ことばと比較した際に生じる相対的な特徴であると言える。すなわちオネエキャラの会話文に必ずしも上記の特徴が現れるということではなく、女性キャラの会話文と比較した場合に確認される傾向と考えられる。類似点は文末表現において男性的表現よりも女性的表現を多用する傾向にあり、その女性的表現よりも中立的表現の方が多用される傾向にあることである。オネエキャラのオネエことばには男性ことばと女性ことば両方の特徴がみられるが、文末表現の種類や使用回数など女性キャラと比較して大きな差異があるとは言い切れない。しかし調査対象とした資料の偏りや、セリフ数に偏りがあることに鑑みると、今後偏りをなくすことによって、新たな書き言葉におけるオネエことばの特徴が見いだせるだろう。今後は調査対象とする作品を増やし、より詳細な書きことばにおけるオネエことばの記述をすることが課題である。

6. 参考文献

- 阿部ひで子・ノーネス(2014)「ゲイ/オネエ/ニューハーフのことば—男性語と女性語のあいだ—」『日本語学』33(1), pp.44-59, 明治書院.
- フランチョーニ, マルチェッロ (2016)「『オネエ言葉』定義修正の一考察」『神園 = Journal of the Meiji Jingu Research Institute』16, pp.143-148.
- 賈伊明 (2019)「バラエティー番組における『オネエことば』の人称代名詞の使用一名大会話コーパスにおける人称代名詞との異同—」『名古屋大学人文学フォーラム』2, pp.295-309. <https://nagoya.repo.nii.ac.jp/records/27861> 最終閲覧日 2023年9月13日.
- 河野礼実 (2015)「『オネエキャラ』の言語表現について—バラエティ番組とフィクション作品を材料に—」金水敏編『役割語・キャラクター言語研究国際ワークショップ2015報告論集』pp.151-164.
- 河野礼実 (2016) 河野. (2016). 「オネエ」キャラクタの人称: バラエティ番組とフィクション作品を材料に」『比較日文学教育研究センター研究年報』12, pp.115-122. <https://teapot.lib.ocha.ac.jp/records/40786> 最終閲覧日 2023年9月13日.
- 河野礼実 (2018)「テレビに出演する『オネエタレント』の役割・期待・演出と言語行動の関わり」

- 人間文化創成科学論叢編集委員会編『人間文化創成科学論叢 / お茶の水女子大学大学院』, 21, pp.23-32. <https://teapot.lib.ocha.ac.jp/records/42489> 最終閲覧日 2023年9月13日 .
- 金水敏 (2003) 『ヴァーチャル日本語 役割語の謎』 岩波書店 .
- 金水敏編 (2014) 『〈役割語〉小辞典』 研究社 .
- 馬瑩 (2020) 「アニメ・マンガにおける役割語の諸相」『方言・音声研究』 12, pp.1-20.
- マリィ, クレア (2013) 『「オネエことば」論』 青土社 .
- マリィ, クレア (2018) 「『オネエことば』とは何か」『日本語学』 37 (4) , pp.22-30. 明治書院 .
- 益岡隆志・田窪行則 (1992) 『基礎日本語文法』 くろしお出版 .
- 劉翔 (2019) 「フィクション作品におけるオネエキャラの表現方法：日中対象を通して」『待兼山論叢文学篇』 53, pp.61-78. https://ir.library.osaka-u.ac.jp/repo/ouka/all/81489/?lang=0&mode=0&opkey=R169312773753131&idx=1&codeno=&fc_val=&chk_st=0&check=0000 最終閲覧日 2023年9月13日 .
- 小川早百合 (2006) 「話し言葉の終助詞の男女差の実際と意識—日本語教育での活用へ向けて—」日本語ジェンダー学会（編）・佐々木瑞枝監修『日本語とジェンダー』, pp.39-51, ひつじ出版 .
- 大江夏美 (2014) 「『オネエ』と『オネエ言葉』—『オネエ言葉』の成立について」『近畿大学日本語・日本文学』 16, pp.179-196.
- 佐竹久仁子 (2018) 「ことばの規範とジェンダー —子どもたちが学ぶこと—」『日本語学』 37 (4) , pp.44-54, 明治書院 .
- 渡邊友香 (2015) 「小説に見られる女性キャラクターの会話スタイルの変化—女性表現は今後衰退するの—」金水敏編『役割語・キャラクター言語研究国際ワークショップ 2015 報告論集』 pp. 118-128.

表 3.1.1-1 調査Iにて使用が確認された文末表現

		オネエ	女性	合計			オネエ	女性	合計			オネエ	女性	合計
う系	だろう	2	19	21	です系	です	51	137	188	の系	の	262	198	460
	だろう?	3	4	7		です?	1	1	2		の?	195	146	341
	でしょう	26	21	47		んです	1	20	21		じゃないの	49	19	68
	でしょう?	15	3	18	な系	な	16	23	39		じゃないの?	7	3	10
	ましょう	44	4	48		かな	24	20	44		ですの	0	5	5
	んでしょう	5	0	5		かな?	5	5	10		ますの	0	1	1
う系省略	んでしょ?	3	2	5	だな	1	5	6	んじやないの?	0	1	1		
	しょ	0	9	9	だろうな	0	2	2	ます系	ます	85	139	224	
	だろ	0	2	2	のかな	1	0	1	ます?	1	2	3		
	だろ?	1	0	1	よな	1	0	1	ません系	ません	24	30	54	
	でしょ	33	10	43	ろうな	0	1	1		もの(ん)系	もの	25	35	60
	でしょ?	20	5	25	ね系	ね	405	214	619	もん	10	7	17	
	ましょ	12	1	13		ね?	2	1	3	だもの	1	2	3	
	んでしょ	3	1	4		ネ	1	0	1	だもん	2	2	4	
	んでしょ?	2	1	3		かしらね	11	2	13	ですもの	3	6	9	
	か系	か	33	14		47	かしらね?	2	3	5	ましたもの	0	1	1
か?		17	5	22		かね	0	1	1	んだもん	0	1	1	
でしょうか		3	7	10		くださいね	3	0	3	よ系	よ	408	384	792
でしょうか?		0	2	2		だね	5	2	7		よ?	6	3	9
でしたか		0	1	1		だよね	3	11	14	くださいよ	0	1	1	
ですか		4	62	66		だよね?	0	1	1	じゃないのよ	2	2	4	
ですか?		6	11	17	だろうね	1	0	1	だよ	17	17	34		
のか		1	7	8	だわね	2	2	4	だわよ	2	1	3		
ましたか		0	2	2	ちようだいね	0	1	1	でしょうよ	1	0	1		
ましたか?		2	1	3	でしたね	0	1	1	ですよ	5	15	20		
ましょうか		9	4	13	でしょうね	5	9	14	なさいよ	31	8	39		
ましょうか?		1	1	2	でしょうね?	1	1	2	よ系	のよ	313	250	563	
ますか		1	3	4	ですね	2	18	20		のよ?	8	2	10	
ますか?		1	5	6	ですかね?	2	0	2		ましょうよ	6	2	8	
ませんか		1	2	3	ですよね	4	2	6		ますよ	6	5	11	
ませんか?		1	4	5	ですよね?	0	1	1		ませんよ	0	1	1	
もんですか		1	0	1	ですわね	0	1	1		ませんよ	0	1	1	
んですか		0	6	6	なさいね	8	1	9		ものよ	1	1	2	
んですか?		0	1	1	のね	77	48	125		わよ	229	87	316	
かい系		かい	0	2	2	のね?	5	0		5	わよ?	1	0	1
	かい?	2	0	2	のよね	33	6	39		わヨ	1	0	1	
	ですかい	0	2	2	ましたよね	1	0	1	んだよ	0	3	3		
かしら系	かしら	46	16	62	ましたわよね	0	1	1	わ系	わ	221	351	572	
	かしら?	36	19	55	ましようね	2	4	6		だわ	36	38	74	
け系	け?	2	0	2	ますね	1	1	2	ですわ	1	14	15		
さ系	さ	16	11	27	ますよね	1	0	1	ましたわ	0	2	2		
し系	し	5	4	9	ますよね?	0	1	1	ますわ	0	10	10		
	ですし	0	1	1	ますわね	0	1	1	ませんわ	1	3	4		
	じゃない系	じゃない	62	46	108	ませんね	0	2	2	んですわ	0	1	1	
		じゃない?	19	18	37	ものね	3	0	3	その他	ください	10	45	55
んじゃない		0	1	1	もんね	9	1	10	下さい		7	0	7	
んじゃない?	3	0	3	よね	46	27	73	じゃん	0		7	7		
ぞ系	ぞ	8	5	13	よね?	4	4	8	ちようだい		10	6	16	
	だぞ	1	0	1	わね	143	51	194	頂戴	17	3	20		
	ますぞ	0	1	1	わね?	2	1	3	でした	6	17	23		
だ系	だ	31	39	70	わよね	16	2	18	ですこと	0	1	1		
	のだ	0	1	1	わよね?	3	0	3	なさい	86	72	158		
だい系	んだ	6	13	19	んでしょうね	1	2	3	ました	27	51	78		
	だい?	1	0	1	んですね	1	0	1	ませ	7	0	7		
て系	て?	1	0	1	んですよね	0	1	1	や	0	1	1		

表 3.2.1-1 調査IIにて使用が確認された文末表現

		⑤ -2	⑥ -2	⑦ -2	⑧ -2	合計			⑤ -2	⑥ -2	⑦ -2	⑧ -2	合計		
		女性	女性	女性	女性				女性	女性	女性	女性			
う系	だろう	0	1	15	0	16	ね系	だろうね	2	0	4	0	6		
	だろう?	0	0	1	0	1		でしょうね	0	0	4	0	4		
	でしょう	1	0	17	1	19		でしょうね?	0	0	2	0	2		
	でしょう?	1	0	1	1	3		です	0	0	0	1	1		
	ましょう	5	0	1	0	6		ですよね	0	1	0	0	1		
う系省略	んだろう	0	0	3	0	3	なさい	0	1	1	0	2			
	だろ	0	0	1	0	1	のね	4	2	12	5	23			
	でしょ	1	0	13	8	22	のよね	0	0	7	1	8			
	でしょ?	0	0	1	1	2	のよね?	0	0	0	1	1			
	ましょ	0	0	2	1	3	ものね	0	0	0	1	1			
か系	んでしょ	0	0	1	0	1	もんね	1	0	0	0	1			
	か	1	0	14	0	15	よね	1	3	5	9	18			
	か?	2	0	0	0	2	よね?	0	0	0	2	2			
	じゃないか	0	0	3	0	3	わね	3	2	19	5	29			
	でしょうか	0	1	0	0	1	わよね	0	0	1	2	3			
かい系	ですか	0	1	10	2	13	の系	の	17	16	67	20	120		
	ですか?	0	0	0	1	1		の?	5	0	35	10	50		
	のか	0	0	2	0	2		じゃないの	0	0	8	0	8		
	のか?	1	0	0	0	1		じゃないの?	0	0	3	0	3		
	ましたか	0	0	1	0	1		ですの	0	1	0	0	1		
	ますか	0	0	0	1	1		ます	2	4	12	2	20		
	ものか	0	0	1	0	1		ません	0	2	0	1	3		
	かしら系	かい	0	0	12	0		12	もの(ん)系	もの	1	0	17	0	18
		かい?	0	0	4	0		4		もん	1	0	0	1	2
	け系	かしら	2	0	20	1		23	よ系	だもの	5	0	6	1	12
かしら?		0	0	3	0	3	ですもの	0		1	0	0	1		
さ系	け	0	0	2	1	3	わ系	よ	13	10	144	16	183		
	け?	1	0	0	0	1		よ?	0	0	1	0	1		
し系	さ	0	0	33	4	37		じゃないのよ	0	0	1	0	1		
	だろうさ	0	0	1	0	1		じゃないよ	0	0	1	0	1		
じゃない系	し	0	0	6	7	13		だよ	1	0	36	0	37		
	だし	0	1	0	2	3		だろうよ	0	0	1	0	1		
	だし?	0	0	0	1	1		ですよ	0	2	8	0	10		
	だろうし	0	0	1	0	1		なさいよ	1	0	5	1	7		
	んだし	0	0	1	0	1		のよ	13	10	88	9	120		
ぞ系	じゃない	1	0	26	3	30		のよ?	0	0	0	1	1		
	じゃない?	2	0	5	2	9	ましたよ	0	0	1	0	1			
だ系	ぞ	0	0	3	0	3	ます系	ますよ	0	0	2	0	2		
	だ	0	1	27	1	29		ませんよ	0	1	0	0	1		
だい系	んだ	1	0	38	10	49	わ系	わよ	2	0	43	3	48		
	だい?	0	0	3	0	3		んだよ	0	0	11	1	12		
な系	んだい	0	0	9	0	9	その他	わ	17	1	44	7	69		
	です	1	6	8	3	18		だわ	2	1	17	0	20		
ね系	な	0	1	11	5	17		ください	1	1	9	0	11		
	かな	0	1	4	7	12		下さい	0	0	0	2	2		
	だろうな	1	0	3	0	4		じゃん	1	0	5	6	12		
	だろな	0	1	0	0	1		ちようだい	0	0	5	0	5		
	のかな	0	0	2	0	2		ちよーだい	0	0	1	0	1		
ね系	ね	8	15	84	33	140		でした	0	0	0	1	1		
	ね?	1	0	0	0	1		なさい	1	0	16	5	22		
	かね	0	0	5	0	5		ました	2	0	8	0	10		
	くださいね	0	0	1	0	1	ました?	0	0	1	0	1			
	だね	3	1	12	1	17	や	0	0	1	0	1			
	だよ	1	0	1	4	6	わけ	0	0	2	0	2			
							わけ?	0	0	0	1	1			